

Enjoy Today

編集・発行
新津市教育委員会

地域文化の振興に向けて 新津市文芸協会結成



坂口安吾の文学碑建立など市民の主体的な活動による文芸ムードが高まりつつあるなか、10月29日（土）に新津市文芸協会の設立総会が開催されました。

これまで、文芸の各ジャンルや結社ごとに活動してきた新津市の文芸エネルギーを結集することにより、一層活性化を図り地域文化振興の一翼を担おうとするもので、今春から準備が進められてきました。文芸協会は、短歌、俳句、川柳、詩、小説、随筆、評論の各ジャンルで創作活動をしている人や愛好者が加入することができ、11月末現在の会員は141名です。

当日の総会は、役員の選出（会長—仙田善雄氏：歌人）

や規約、活動方針などを審議した後、本市出身で日本近代文学会会員の若月忠信氏による「私小説の典型—葛西善蔵」と題した記念講演がありました。

まちづくりは、行政の力だけでなく、市民の自主的、自発的な活動と行政との共同作業でもあります。本市には、これまで美術協会と音楽協会が結成されており、それぞれ自主活動が展開されてきましたが、これに続く文化活動組織が誕生したことで「文化のかおり高いおくゆかしいまち」（市民憲章）づくりに向けた活動の盛りあがり期待されています。

《連絡先／新津市中央公民館 TEL (22) 9666》